

新基本計画実装・農業構造転換支援 事業の取り組みについて

JAさが 広域玉葱施設



佐賀県農業協同組合
園芸部・営農経済企画部

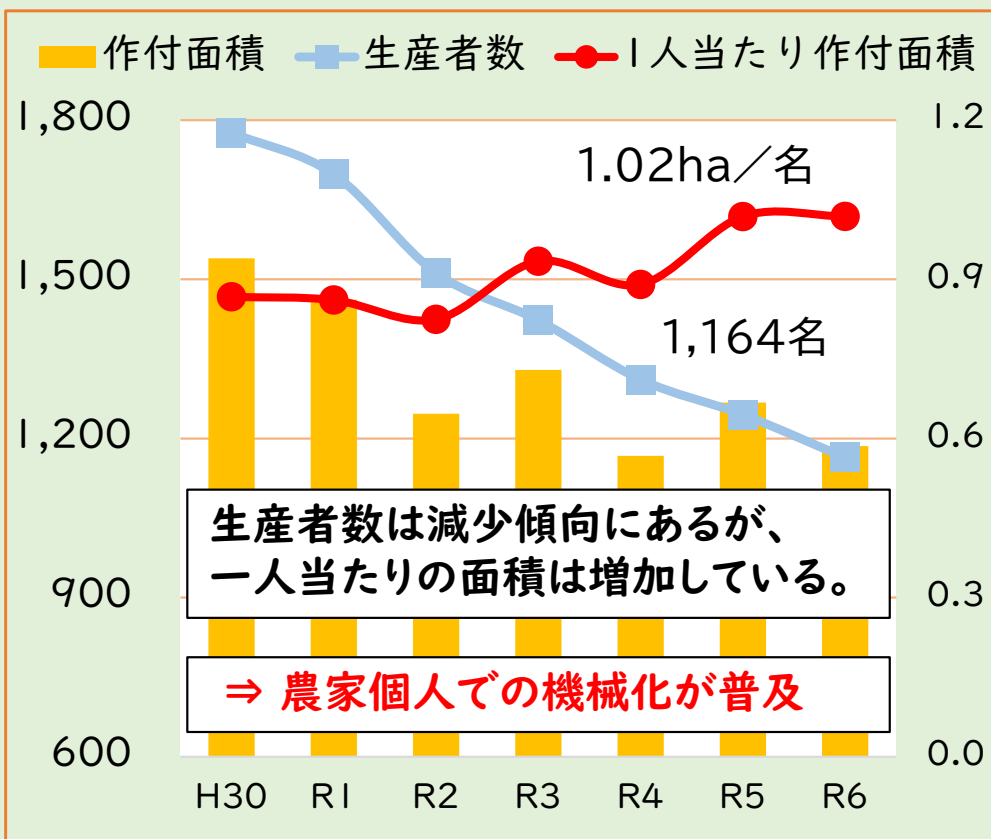


1. 地域の概要

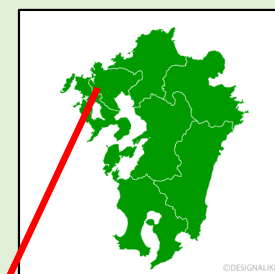
(1) JAさが 玉葱販売実績 (R1~R5)

(単位:t)

	R1	R2	R3	R4	R5	目標	5か年平均
販売数	60,691	44,968	37,876	32,288	39,144	40,000	42,993
共選数	46,794	35,098	30,582	25,437	32,624	36,000	34,107
個選数	13,897	9,870	7,294	6,851	6,520	4,000	8,886
共選率	77.1%	78.0%	80.7%	78.7%	83.3%	90.0%	79.3%



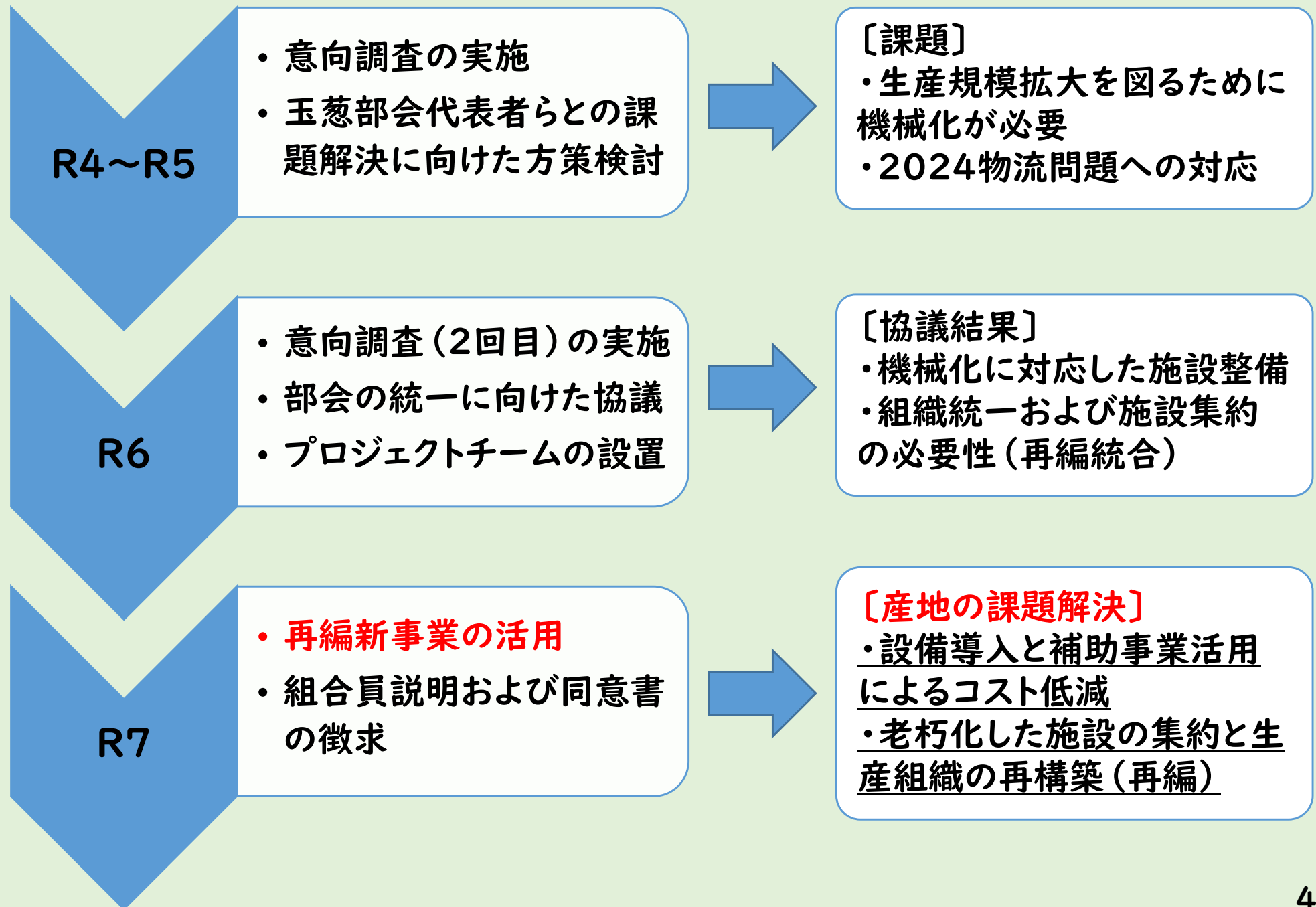
管内は九州北部に位置し佐賀平野・白石平野を中心に玉葱栽培が盛んな県です。



2. 施設再編までの経過

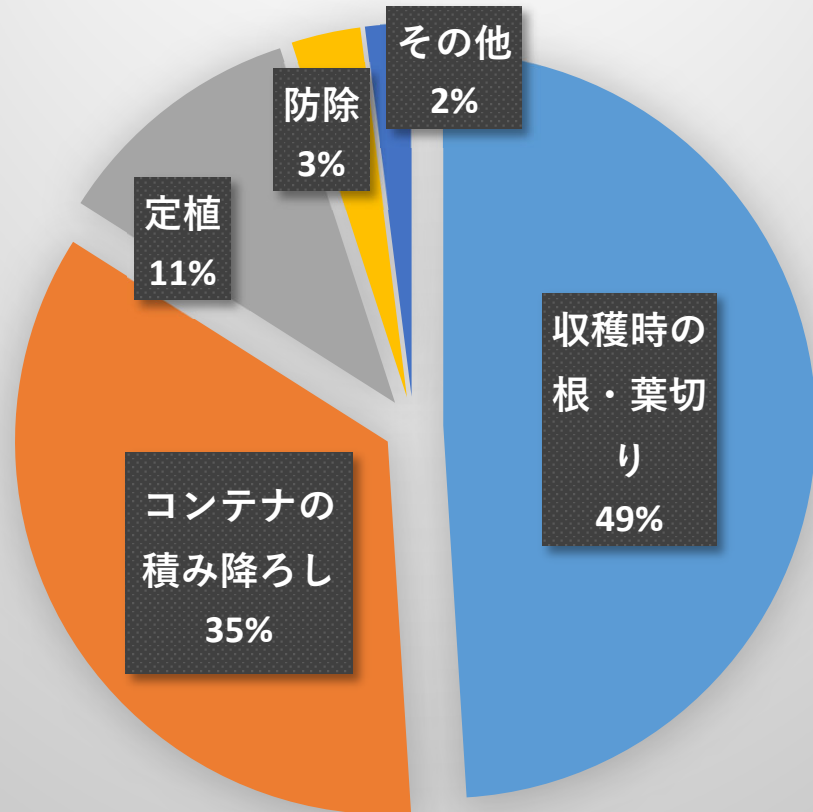
	項目	概要
R4.12	意向調査の実施	今後の栽培意向(拡大など)の調査
R5.7	連絡会の設立	管内3地域(6選果施設)の代表者
R5.12	意向調査の実施	生産拡大に向けた課題・要望の調査
R6.3	JAさが玉葱連絡協議会の設立	管内3地域(6選果施設)を組織化
R6.9	プロジェクトチームの設置	JAさが実務担当者(生産・販売)
R6.12	新基本計画実装・農業構造転換支援事業の説明会	生産拡大・産地の課題解消に向けた協議が加速的に進む
R7.2	生産者より同意書の徴収	利用面積・将来的な目標値を設定
	新基本計画実装・農業構造転換支援事業 R7補正 2次募集に応募	採択を受ける
R7.7	補助事業の実施(事業の開始)	県の交付決定後に事業の着手
R8.3	第1期工事の完了	乾燥設備工事
R9.3	第2期工事の完了(予定)	建屋建設工事
R10.3	第3期工事の完了(予定)	選果機・貯蔵設備工事(本稼働)

3. 施設導入までのプロセス

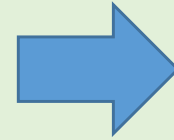


4. 農家の声（意向調査の結果から）

生産者の意向調査から
問：玉葱栽培で一番大変な作業は？



収穫時の根葉切・コンテナの積み降ろし ⇒ **84%**



生産者の
高齢化・労働力不足

生産者の意向（機械化）に
沿った施設の整備



新たな選果施設の
建設

5. 新たな選果施設の概要

【課題】
高齢化・労働力不足

【対策】機械化への促進
(大型鉄コンテナ取扱い)

根葉切(人力作業)



圃場乾燥
⇒天候不良による
品質低下



機械化一貫体系の確立



新選果場の建設コンセプト

※ 農家搬入の大型鉄コンのまま乾燥・調整・選果までを一貫した設備

共同選果



根葉切(機械)



乾燥システム



大型鉄コンテナ
搬入



6-1. 導入設備（新たな乾燥システム）

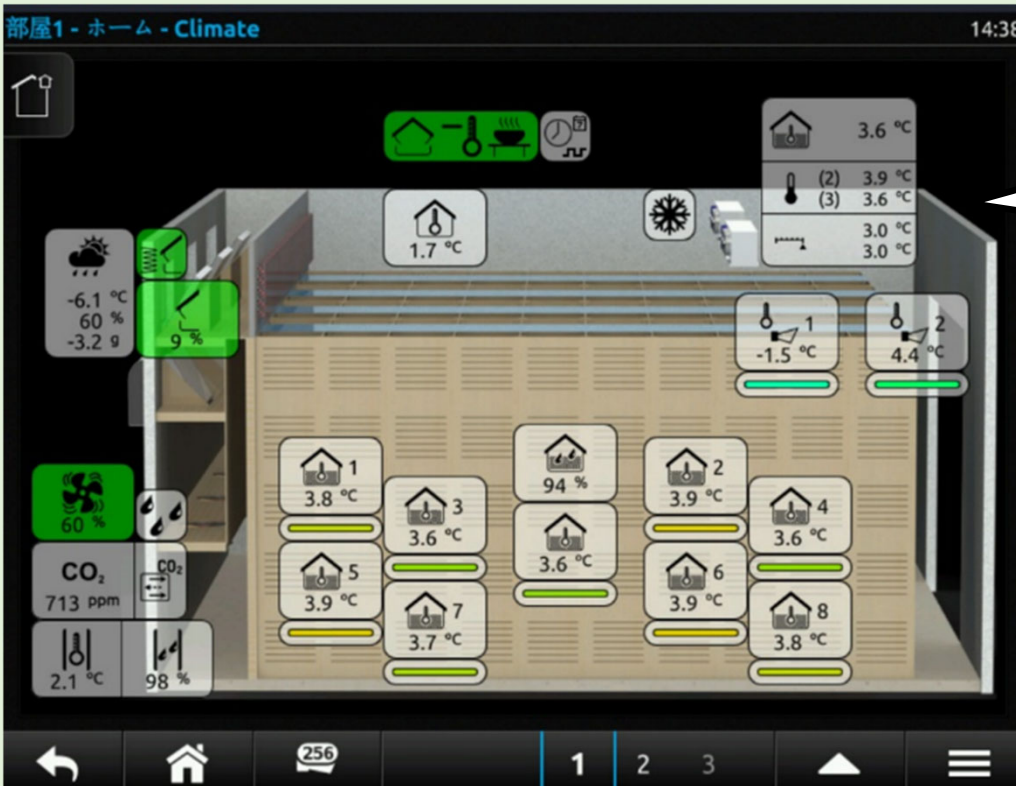
- 掘り上げ後の「根」「葉」がついた未乾燥状態で荷受けが可能
- 従来の圃場乾燥よりも乾燥能力が大幅に向上



品質向上・貯蔵ロスの削減

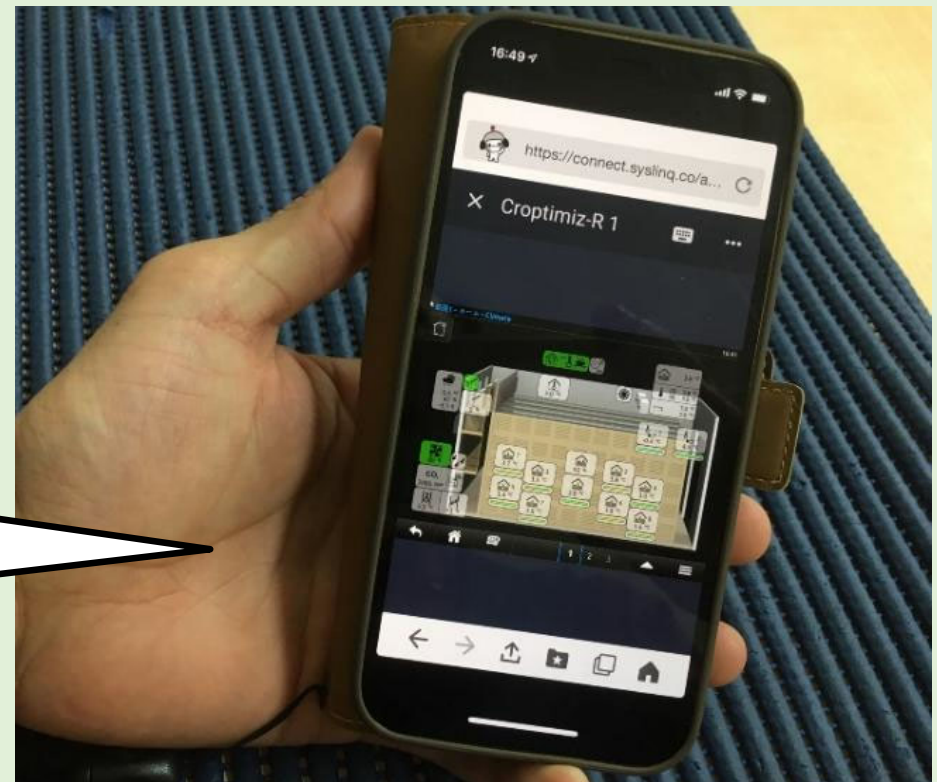
6-2. 導入設備（貯蔵庫の遠隔管理システム）

全ての貯蔵庫を完全に制御できるオートメーションシステムを導入し換気・加熱・冷蔵・循環のすべてのプロセスを制御・監視する。



全ての貯蔵庫の状態を
見える化する

各担当者の携帯・端末でも
制御・監視が可能



6-3. 導入設備（根葉切作業の機械化）

掘り取り後の玉葱を根葉付き状態で荷受けし、農家の労力軽減を図る。

乾燥

貯蔵

根葉切り

選果・出荷

従 来



人による根葉切り

○処理量：0.7+ / 時間
(作業者4名の想定)

目 標



タッピングマシン（根葉切り機）

○処理量：3~8+ / 時間
(作業者4名の想定)

根葉切り作業の
労力の軽減

経営面積
を拡大

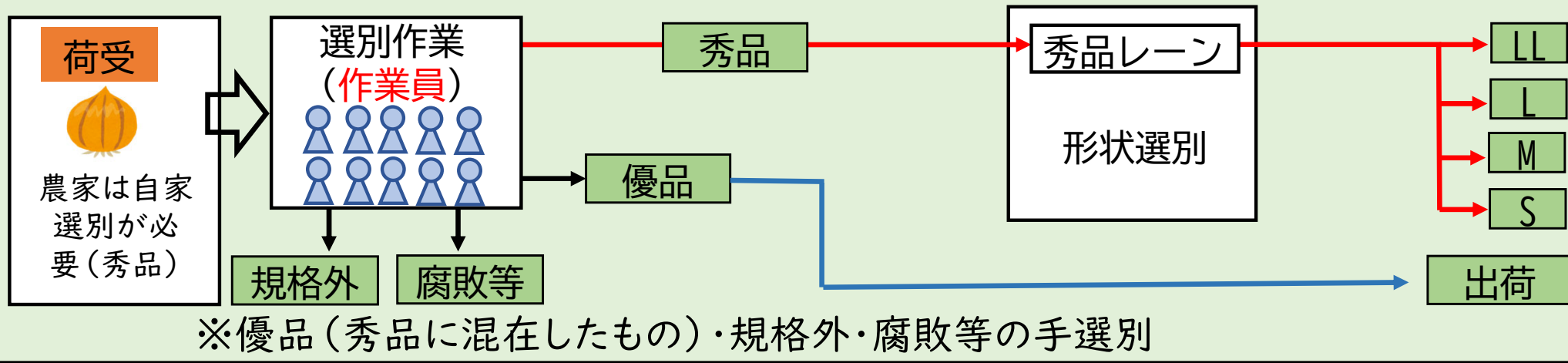
大規模生産者

経営面積
を維持

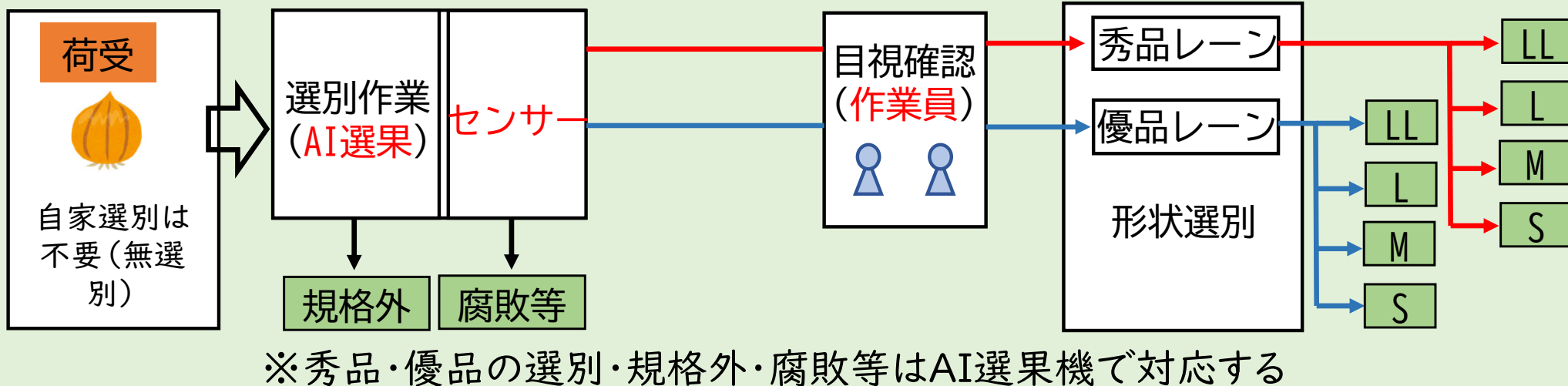
中・小規模生産者

6-4. 導入設備 (AI選果の導入)

現在の選果



AI選果



7. 再編整備計画の概要

JAさが広域玉葱 選果体制（メイン・サブ施設への集約）



新施設の建設(メイン)

※既存オニオンセンターに選果日量300t/日、年間選果量35,492t/年規模の玉葱専用の選果場を増設する。

まとめ(最後に)

1. 利用者の意向を把握する

生産者が必要としていることや将来的な生産計画は、施設整備や施設の利用料に影響します。

⇒ 意向調査やアンケート調査の実施

2. 協議は時間を重ね、実務はスピード重視

大型投資は大きなリスクと抱えることから、利用者側・JA側がお互いに納得できるまで協議は時間をかける必要があります。ただし、内容が決まれば達成に向け数段ギアを上げてください。

⇒ 常に検討と実行がスムーズにできる体制を作る(協議会・Pチームなど)

3. 利用者重視の設備建設

施設を利用するのは利用者(組合員)ですから、利用者の意向や利用料の負担等を考慮し利用者(組合員)に愛着を持って頂く施設を建設してください。

⇒ 施設運営のキャッシュフローや導入効果の見える化を行う